

令和7年3月19日

保護者様・地域の皆様

世田谷区立八幡山小学校
校長 林田孝子

前年度の改善方策について実行した改善結果

保護者・地域の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解ご協力をいただきありがとうございます。令和6年度の改善方策を受けて、令和7年度に実行した改善結果を下記の通り、ご報告致します。

提言1 6年間を通して、なりたい自分や生き方について考える授業をキャリア教育を通して行い、保護者に分かりやすく伝える。

【提言1を受け改善した内容】

- ① 道徳の授業の際やキャリアパスポートを活用して、生き方や将来のことについて目標を立てる機会も多くもちました。キャリアパスポートは保護者の方にも見ていただき、コメントをいただきました。
- ② 6年生は、東京都産業局の起業家教育プログラムを活用し、八幡山小学校創立65周年をお祝いするキーホルダーを作成し、保護者に販売する活動を行いました。
- ③ 6年生へは学校支援コーディネーターが中心となって、ゲストティーチャーを招き、様々な職種について話を聞く授業を今年度も実施しました。また、3学期には4年生の総合的な学習の時間で、保護者の方から仕事の話聞く機会を設定しました。

【提言1を受け改善した結果】

児童アンケート	肯定的回答の変化 (R6→R7)	保護者アンケート	肯定的回答の変化 (R6→R7)
自分の生き方や将来のことについて、考える授業がある	81% → 66%	先生は、子どもの生き方や将来のことについて考える授業をしている	47% → 79%
目標をもち、その実現に向けて努力している	78% → 74%	学校は、子どもに目標をもたせ、その実現のために支援している	58% → 56%

- ◎ 児童アンケート「自分の生き方や将来のことについて、考える授業がある」の肯定的評価が大きく減少しました。アンケートが起業家教育やキャリア教育の授業を行う前だったことも関係していると思われます。令和8年度は6年生だけでなく、他学年においても保護者、地域の方から仕事の話聞く機会を設定し、子どもたちがより自分の将来について考える機会を多くもてるようにしていきたいと考えています。
- ◎ 保護者アンケート「先生は子どもの生き方や将来のことについて考える授業をしている」の項目は、目標数値65%を超えましたが、「学校は子どもに目標をもたせ、その実現のために支援している」の項目は超えることができませんでした。

提言2 将来に向けて、中学校を見据えた学習方法、自ら学ぶ姿勢の育成のために、家庭学習や授業の方法を改善、工夫する。

【提言2を受け改善した内容】

- ① 令和10年度の教科担任制の導入に向け、可能な範囲で学年内の交換授業に取り組みました。児童を学年の教員全員で見ることができたこと、教科の教材研究を深めることができたことが成果です。
- ② 各学年、タブレットを活用した学習を日常的に行いました。

児童アンケート	肯定的回答の変化 (R6→R7)	保護者アンケート	肯定的回答の変化 (R6→R7)	地域アンケート	肯定的回答の変化 (R6→R7)
家庭でe-ラーニングでの学習をしている	64% → 64%	子どもは家庭で自主的に勉強している。	56% → 61%	/	/

【提言2を受け改善した結果】

- ◎ 昨年度に比べ、保護者の「子どもは家庭で自主的に勉強している」の項目の肯定的評価が高くなりましたが、目標数値の70%を超えることができませんでした。引き続き自主的に家庭学習に向かう児童を増やしていく努力が必要であると考えます。
- ◎ e-ラーニングの活用は数値的には変化がありませんでした。タブレット学習に関してはキュビナの活用をすすめていくとともに、引き続き児童がすすんで学びに向かえるよう授業改善、家庭との連携をすすめていきます。

提言3 交通ルールを徹底して、特に危険と思われることについて今まで以上に丁寧に指導し、実行させる。

【提言3を受け改善した内容】

- ① 成城警察署、八幡山駐在所とも連携し、1年生の交通安全教室は4月と6月の2回、行いました。3年生は自転車の乗り方についての交通安全教室を行いました。
- ② 定期的に教員が下校指導として校外を見回り、児童の安全を見守りました。

児童アンケート	肯定的回答の変化 (R6→R7)	保護者アンケート	肯定的回答の変化 (R6→R7)	地域アンケート	肯定的回答の変化 (R6→R7)
登下校のきまりや交通ルールを守っている	91% → 87%	避難訓練やセーフティ教室などで、安全に関する指導をしている。	76% → 90%	安心・安全な学校づくりを進めている。	92% → 100%
交通ルール（自転車運転）を守っている	91% → 87%	ルールを守る指導をしている	72% → 79%	安全性を高めようと、地域と協力している。	82% → 94%
/	/	/	/	「学校と保護者・地域が協力して防犯・交通安全に取り組んでいる」	84% → 91%
/	/	/	/	交通ルールを守っている	80% → 88%

【提言3を受け改善した結果】

- ◎ 児童の自己評価はやや低くなりましたが、保護者、地域の方の安全に関する項目の肯定的評価はおおむね上昇し、目標数値85%を超えました。児童が交通ルールを守ることを意識して生活ができるよう、引き続き保護者、地域と連携しながら指導をすすめていきます。

以上、令和7年度に実行した改善結果のご報告となります。